



R8 青山ラグー現役通信



昨年度の花園予選

令和7年度の花園予選は、万代高校との対戦となりました。春の地区大会でも対戦し、10-5という接戦を制し勝っている相手です。

試合は開始直後の前半1分、新潟得意の素早い連続攻撃からSO織田島が抜け出し先制のトライを決めます。前半15分には織田島のキックパスからWTB佐藤がトライし追加点をあげます。このまま新潟ペースで試合が進むかと思われましたが、中盤以降は万代の徹底したモール攻撃に苦しめられます。後半はボールを保持することができず防戦一方にまわる展開となります。必死のDFで食い下がりますが反則も重なり、最終スコア12-26で敗戦となりました。



金澤キャプテンを中心に選手・マネージャーが結束した代でした。人数不足に悩んだ時期もありましたが、常に「新潟高校ラグビー部」と仲間を大切にしてきたことで部員が集まり、単独チームでの大会参加を実現しました。ラグーマンとしても高校生としても成長し続け、文武両道を体現したこともチームのよい文化として後輩達へ引き継がれています。

今年度のチーム

今年度に入学生8名（男子選手6名、女子マネージャー2名）を迎え、総勢24名（選手20名、女子マネージャー4名）で今年度の活動をスタートしています。

4月の地区大会は第5シード決定戦で長岡工業高校と対戦、両チームの強みが発揮される展開となりお互いにトライを取り合います。クロスゲームとなりますが、終盤の勝負所で2年生PR山本が決勝トライ、50-47で勝利を収めました。

続く7人制大会では、予選リーグで前年度優勝の開志国際高校と対戦しました。全国レベルの体格やスキルを持つ相手に対し、臆することなく真っ向勝負を挑みました。試合は敗れたものの、冬から鍛えてきたタックルを何本も決め、成長を実感することができました。

迎えた春の県総体は新潟工業との対戦となりました。県総体は共同キャプテンを務めるSO上原、CTB遠田がともに負傷のためプレーできない状況で試合当日を迎えました。厳しい戦いが予想されましたが、新潟の選手たちは勇敢に戦いに臨みました。序盤から鋭い出足からのDFを繰り返し相手の大型FWに対抗します。新潟工業伝統のドライビングモールも人数の少ない新潟がきっちり止めます。どんな状況でも前向きに、自分たちのやるべきことをやりきる新潟高校らしい試合でした。大会をベンチで見ていた1年生部員たちも憧れのまなざしで先輩の姿を追いかけていました。



攻守の要SO上原聖人。負傷中だがチームを引っ張り続ける。

ここまでの戦績

令和7年度 花園予選

1回戦 新潟 12-26 万代

令和8年度 春季地区大会

シード戦 新潟 50-47 長岡工業

令和7年度 NHK杯（Bグループ）

1回戦 新潟 7-50 新潟工業

令和8年度 7人制全国大会県予選

リーグ戦 新潟 0-52 開志国際

リーグ戦 新潟 17-31 村上・新発田

5位決定戦 新潟 0-40 新発田南

令和8年度 新潟県総合体育大会

1回戦 新潟 0-73 新潟工業



走る・蹴る・跳ぶ、PR遠山明翔。後輩の面倒見が抜群に良い。

R7 現役チーム体制

主 将 遠田 陽也 (3年 CTB)

主 将 上原 聖人 (3年 SO)

監 督 笹川 敬史

顧 問 勝 雅史

顧 問 高野 和人

部員数 24名

(3年7名、2年9名、1年8名)



キャプテン CTB 遠田陽也。
夏に本格復帰しチームの起爆剤となる！



鋭い突破が光る N08 豊田晃。
普段はシャイだがやるときはやる男。

今後の予定

花園予選

- ① 10月11日(日) 長岡 NT ② 10月25日(日) 長岡 NT
③ 10月28日(水) 鳥屋野 ④ 11月1日(日) 新潟市陸上競技場

NHK 杯

- ① 11月3日(火祝) 鳥屋野 ② 11月14日(土) 鳥屋野
③ 11月21日(土) 鳥屋野

※大会会場、日程は変更になる可能性があります。協会 HP などを確認してください

いわき合宿：8月8日(土)～10日(月)に福島県いわき市の鮫川グラウンドで県外遠征を実施します。チーム力を高め、秋の戦いに臨みます。



トライゲッターの俊足 FB-WTB 佐藤晴。
体は小さいが強気なランが持ち味。



献身的なプレーでチームを支える SH 菅秀真。
グラウンド外でも気配りを忘れない良い男。

御礼

日ごろから、青山ラグークラブの皆様には物心両面でご支援いただき、心より御礼申し上げます。ボールなど消耗品の支援や遠征費の助成、現役支援 T シャツの販売など、おかげさまで新潟高校ラグビー部は他の公立部活動では実現できないような充実した活動を行うことができております。また、グラウンドに直接足を運んで激励してくださる OBOG の皆様、選手の励みとなっているだけでなく、青山ラグーの伝統と文化が現役生に伝わっています。本当にありがとうございます。いつでもお気軽にお越しください。

昨年 9 月にはリーグワン東芝ブレイブルーパス東京のヘッドアナリスト宮尾正彦さん、WTB 岩渕誠さんという新潟高校 OB お二人をお招きし、スペシャルクリニックを実施することができました。宮尾さんからはドローンを上空に飛ばし、プロ選手達と同じような分析手法を体験させていただき、岩渕選手は泥まみれになりながら高校生に直接コーチングしていただきました。シーズン前の多忙な時期にもかかわらず熱の入ったご指導をいただき、素晴らしい時間を過ごすことができました。また、宮尾さんからは分析用撮影機器をプレゼントしていただきました。練習や試合の振り返りに活用し、よりラグビーを堪能します。ありがとうございました。

現役選手、マネージャーは日々の活動に全力で取り組み、今後も成長を続けていきます。青山ラグークラブの皆様、引き続き今後もよろしくお願い申し上げます。



【文責 笹川 敬史 108回卒】